

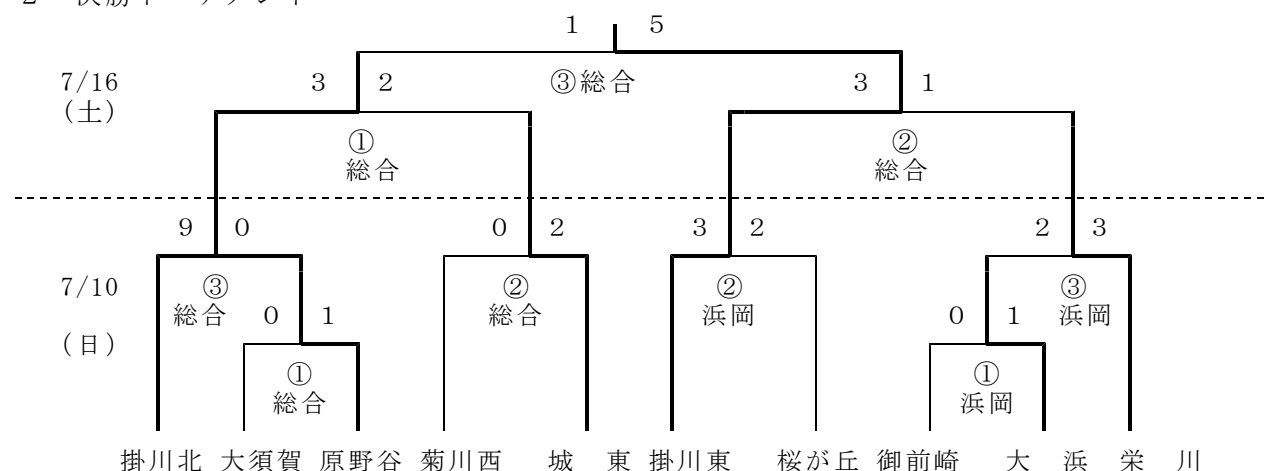
野 球

総合体育大会

1 予選トーナメント・リーグ戦 7/2(土)

グループ	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
A	大 浜 6 - 3 菊川東常葉菊川	掛川北 3 - 0 菊川西	掛川北 0 - 0 大 浜 特ル (1 - 0)	菊川西 4 - 0 菊川東常葉菊川
B	栄 川 1 - 0 桜が丘	大須賀 8 - 6 浜 岡	栄 川 2 - 2 大須賀 特ル (9 - 4)	桜が丘 3 - 2 浜 岡
C	原野谷 1 - 0 岳 洋	掛川東 7 - 0 原野谷	掛川東 3 - 1 岳 洋	
D	城 東 4 - 1 掛川西	城 東 8 - 5 御前崎	御前崎 5 - 0 掛川西	

2 決勝トーナメント



大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川北 3位 城 東、栄 川

大会寸評

学校組合立御前崎中学校 平野 公一

今年度の大会は、どのチームも力が拮抗し、接戦が多くあった大会だった。優勝した掛川東中は、5試合中3試合で逆転勝利を収め、技術・体力の高さだけでなく、最後まであきらめない強い精神力を見せた。全員野球と総合力で優勝を勝ち取った。準優勝の掛川北中はエースを中心に堅い守りで試合を優位に進めた。シード校の3校がベスト4に上がる前に敗れたように、どのチームも最後の大会に向けて力をつけてきたことがわかる。最後の勝敗を分ける細かな技術、そして強い精神力が、この小笠地区を勝ち抜くために必要であることが再確認できた大会であった。

優勝作文

掛川市立東中学校 菅沼 大平

「心の弱さ」これが僕たちの一番の弱点でした。選手個々の力は十分あったと思います。しかし、この「心の弱さ」のせいで本来の力を発揮できず、自分たちが目指してきた試合運びがなかなかできませんでした。しかし、ひとつの出来事がきっかけでチームがまとまりはじめました。小笠総体の二週間前に練習試合で、主将の僕がけがをしてしまったのです。みんなが、「おまえが帰ってくるまで勝ち続ける。」と言ってくれました。そこからは、練習にも身が入り、チームの士気も高まっていきました。決勝トーナメント初戦の桜が丘中戦では、3回に2点を先制されましたが、5回二死走者なしから死球、内野安打、レフト前ヒットで満塁とし、3番打者の一打で3点を取り、逆転することができました。準決勝の栄川中戦でも1点を先制されるも、連打でチャンスを広げ、相手のミスとタイムリーヒットで逆転することができました。先制点をとられると雰囲気悪くし、負けることが多かった僕たちでしたが、5試合中3試合が逆転での勝利でした。これは自分達の「心の弱さ」を克服し、最後まであきらめずに粘り強く戦い抜いた結果だと思います。この優勝は自分達だけで手に入れた結果ではありません。支えてくれた下級生や保護者の皆様、指導して下さった先生方のおかげだと思います。感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。